Kashimura
BL-22

保管用
保証書付

Bluetooth3.0インナーイヤホンマイク マルチポイント

取扱説明書

もくじ

安全上のご注意 …… 1 ｜ 使用方法（初めて使用する場合）- 6
警告 …… 2 ｜ 主なBluetooth搭載機種のペアリング方法 - 7~11
注意 …… 3 ｜ 使用方法 …… 12~13
各部の名称と働き …… 4 ｜ 故障かな？と思ったら …… 14
使用上のご注意 …… 5 ｜ 保証書 …… 15

＊お買い上げありがとうございました。
＊ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みのうえ、正しくご使用ください。
＊お読みになった後は、大切に保管してください。

安全上のご注意　必ずお守りください。

＊ご使用前にこの「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
＊ここに示した注意事項は製品を安全に正しくお使いいただき、使用者や他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。
＊また注意事項は次のように区分しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので必ず守ってください。

表示の説明

⚠危険	この表示は「人が死亡または重傷を負う差し迫った危険が想定される内容」を示しています。
⚠警告	この表示は「人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容」を示しています。
⚠注意	この表示は「人が障害を負う可能性が想定される内容や物質的損害の発生が想定される内容」を示しています。

記号の説明

❗	この記号は必ず実行していただく内容を示しています。
🚫	この記号はおこなってはいけない内容を示しています。

⚠危険

🚫	＊耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと聴力に悪影響を与えることがあります。耳を守るため音量を上げすぎないようにご注意ください。
❗	＊走行中の携帯・自動車電話機の使用は法律で禁止されていますので万が一電話をかける場合は安全な場所に停車してから携帯電話機の操作をおこなってください。
🚫	＊走行中はハンズフリー通話以外には使用しないでください。
🚫	＊航空機の運行に支障をきたすおそれがありますので、本製品は機内で使用しないでください。

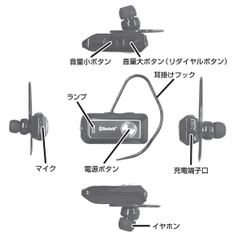
⚠警告

❗	＊本製品を正常にご使用中、異臭・発煙・変形などの異常が起きた場合には、ただちに本製品の使用を中止してください。（感電・火災・事故の原因となります。）
🚫	＊熱器具の近くや直射日光の当たる所で本製品を充電したり、放置しないでください。（火災・事故の原因となります。）
❗	＊本製品を充電する際は必ず付属されているDC充電器および、USBケーブルをご使用ください。（火災・故障の原因となります。）
❗	＊本製品のDC充電器とUSBケーブルは本製品専用となります。本製品以外の充電には使用しないでください。DC充電器は12V/24V、USBケーブルはUSB端子5V以外では使用しないでください。（事故・故障の原因となります。）
🚫	＊自動車内で使用した場合、車種により車載電子機器に影響を与える場合があります。安全運転を損なうおそれがありますので、そのような場合は使用しないでください。（事故・故障の原因となります。）
❗	＊充電終了後は必ずUSBケーブルから本製品を外し、USBケーブルをUSB端子から抜いてください。（火災・事故の原因となります。）
🚫	＊USBケーブルのコードや端子が痛んだり、USB端子の差し込みがゆるいときは使用しないでください。（感電・ショート・発火の原因となります。）
🚫	＊USBケーブルのコードを傷つけたり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、重いものをのせたり、はさみ込んだり、加工したり、本体に巻きつけたりしないでください。（感電・ショート・発火の原因となります。）
🚫	＊子供だけで使わせたり、幼児の手の届く所では使用しないでください。（事故やけがをするおそれがあります。）
🚫	＊水にぬれた、ぬらしたりしないでください。また湿気の多い所やぬれた手で使用しないでください。（感電・ショート・発火の原因となります。）
🚫	＊絶対に分解・修理・改造をしないでください。（発火や異常動作によるけがの原因となります。）

⚠注意

❗	＊窓を閉めきった自動車のややダッシュボードの上などの直射日光があたる場所や工アコンの吹出口などの異常に温度が高くなる場所に放置しないでください。（事故・故障の原因となります。）
❗	＊USB端子からUSBケーブルを抜く時は、必ずUSB端子部を持って抜いてください。（感電やショートして発火することがあります。）
❗	＊落としたり、ぶつけたりして破損した場合は使用しないでください。（感電・発火の原因となります。）
❗	＊充電完了後に長時間USBケーブルをUSB端子に接続したままにしないでください。また充電終了後は必ずUSB端子からUSBケーブルを抜いてください。（事故・故障の原因となります。）
🚫	＊調理台や加湿器のそばなど油煙や湿気があたる場所には置かないでください。（事故・故障の原因となります。）
🚫	＊イヤホンパッドはしっかり取り付けてください。イヤホンパッドがはずれて耳に残るとけがや病気の原因となることがあります。
❗	＊イヤホンマイクが合わないと感じたときは早めに使用を中止し医師または弊社の相談窓口、お買い上げ店にご相談ください。
🚫	＊イヤホンマイクは音量を上げすぎると音が外に漏れます。音量を上げすぎて、まわりの人の迷惑にならないように気をつけましょう。雑音の多い所では音量を上げてしまいがちですが、イヤホンマイク使用中はいつも呼びかけられて返事ができるくらいの音量を目安にしてください。
🚫	＊子供の手の届く所には保管しないでください。（事故・ケガの原因となります。）
🚫	＊湿気の多い所には保管しないでください。（絶縁劣化により感電することがあります。）

各部の名称と働き



右耳で使用する場合

＊左耳用になっている耳掛けフックを取り外し、右耳用に付け替えてください。
＊取り替える際は耳掛けフックが折れないように丁寧に扱ってください。

製品仕様　＊動作時間は使用環境によって異なります。

無線方式	Bluetooth Ver.3.0
対応プロファイル	ヘッドセット（HSP）/ハンズフリー（HFP）
無線距離	約10m以内
電源供給	リチウムポリマー電池
充電時間	約2時間 ＊
連続使用時間	最大約6時間（待ち受け最大約280時間）＊
外観寸法と重量	40.2W×19H×30.2D　8g（耳掛けフック除く）
動作環境	温度0～45℃（結露しないこと）
付属品	DC充電器/USBケーブル/耳掛けフック/イヤホンパッドXS,S,M,L

使用上のご注意

良好な通信のために

＊接続機器とは見通し距離で約10m以内で通信してください。建物の構造や障害物によっては通信距離が短くなる場合があります。特に鉄筋コンクリートなどを挟むと通信できないことがあります。
＊電気製品（AV機器・OA機器・電子レンジなど）から3m以上離して通信してください。テレビやラジオなどの場合は、受信障害になる場合があります。
＊無線機や放送局の近くなどで正常に通信ができない場合は、通信場所を変更してください。
＊接続機器からの接続要求に応答するために、低電力ではありますが常に電力を消費しますので使用しないときは電源をOFFにすることをお勧めします。

内蔵電池について

＊3時間以上の長時間の充電はしないでください。
＊電池は寿命があり消耗品ですので、保証対象外となります。
＊十分に充電した電池で使用時間が著しく短くなってきたり、ご利用いただけない場合は電池の寿命となります。（電池の交換はできません。）

使用する電波について

＊本製品は2.4GHz帯域の電波を使用しています。
本製品を使用する上で無線局の免許は必要ありません
が以下の場合や製品の近くでは使用しないでください。

2.4 FH 1
使用電波帯：2.4GHz
変調方式：FF-SS
与干渉距離：10m

＊病院内・電車内・航空機内・ガソリンスタンドなど引火性ガスの発生する場所
＊電子レンジ・ベースメーカー等の産業・科学・医療用機器など
＊自動ドア・火災報知器など
＊工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）
＊特定小電力無線局（免許を要しない無線局）
＊IEEE802.11b/g無線LAN機器

上記の機器などはBluetoothと同じ電波の周波数帯を使用しています。上記の近くで本製品を使用すると電波の干渉を発生するおそれがあります。この機器の使用周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器等のほか工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）及び特定小電力無線局（免許を要しない無線局）が運営されています。

使用方法（初めて使用する場合）

【ペアリング（初期設定）をします。】
7～11ページに「主なBluetooth搭載機種のペアリング方法が書いてありますので下記の内容と合わせてご確認ください。

❶本製品の電源がOFFになっていることを確認してください。
❷ペアリング（初期設定）可能な状態にするために電源ボタンを約 6～8 秒押し続け本体のランプを青色点滅後の**赤・青交互の点滅**の状態にしてください。
❸使用する携帯電話機のBluetooth機能設定にてペアリング可能な機器を検索してください。検索方法は携帯電話機により異なりますので、詳しくは携帯電話機の取扱説明書をご参照ください。
❹検索画面に「BL-22」と表示されますので表示された番号を選択してください。

❺選択した後は携帯電話機の指示に従い操作をしてください。
認証のために携帯電話機によりパスキーの入力が必要な場合があります。パスキーを要求された場合はゼロ4つ「0000」を入力してください。接続する種類を要求された場合は「ハンズフリー」を選択してください。「ヘッドセット」を選択した場合は機能が正常に動作しない場合があります。
＊パスキーという表記名は携帯電話機の機種により異なりますので詳しくは携帯電話機の取扱説明書を参照してください。
❻本製品の電源ランプが**青色点滅**になったらペアリング設定は終了です。
＊ペアリング設定中に間違えてしまったり、ペアリングを失敗してしまった場合はもう一度始めからやり直してください。

【2台目のペアリング方法について】
❶1台目の携帯電話との接続が終了したら携帯電話と本製品の電源をOFFにします。
❷2台目の携帯電話と本機品をペアリング（初期設定）し接続します。
❸2台目の携帯電話と本製品はそのままで1台目の携帯電話の電源をONにします。
❹1台目の携帯電話のBluetooth項目から本製品との接続作業をし、接続中に本製品の電源ボタンを1回押すと接続され2台の携帯電話と接続することができます。

【充電について】
＊付属品のDC充電器とUSBケーブルを使って充電します。
＊本体のランプが赤色に光ると充電が開始されます。
＊本体のランプが青色になると充電終了となります。
（充電時間の目安は電池切れの状態で約２時間）

【電池切れについて】
＊電池が無くなると赤色ランプが5秒ごとに点滅しイヤホンから電子音が鳴ります。
電池切れになった場合には付属品のDC充電器とUSBケーブルを使用して充電してください。

主なBluetooth搭載機種のペアリング方法

＊ペアリングする時は、本製品のランプを**赤・青交互の点滅**にした状態でおこなってください。
＊OSのバージョンによってはペアリングの手順が異なる場合があります。

NTT docomo

機種	アップル iPhone6 Plus/6/6S/6S Plus/5c	NEC N-06E/05E/04E/03E	パナソニック P-03E/02E/07D/06D
ペアリング設定方法	アプリケーション画面 ↓ 設定 ↓ Bluetooth ↓ オンにする ↓ 「BL-22」と表示された番号を選択 ↓ 接続完了	アプリケーション画面 ↓ 設定 ↓ Bluetooth ↓ デバイスの検索 ↓ 「BL-22」と表示された番号を選択 ↓ 接続完了	アプリケーション画面 ↓ 設定 ↓ Bluetooth ↓ デバイスの検索 ↓ 「BL-22」と表示された番号を選択 ↓ 接続完了

機種	シャープ SH-02F/01F/08E	富士通 F-03F/01F/07E/06E	富士通 F-07D/05D/03D
ペアリング設定方法	アプリケーション画面 ↓ 設定 ↓ Bluetooth ↓ デバイスの検索 ↓ 「BL-22」と表示された番号を選択 ↓ 接続完了	アプリケーション画面 ↓ 設定 ↓ Bluetooth ↓ デバイスの検索 ↓ 「BL-22」と表示された番号を選択 ↓ 接続完了	メニュー ↓ 本体設定 ↓ 無線とネットワーク ↓ Bluetooth設定 ↓ デバイスのスキャン ↓ 「BL-22」と表示された番号を選択 ↓ 接続完了

＊ペアリングする時は、本製品のランプを**赤・青交互の点滅**にした状態でおこなってください。
＊OSのバージョンによってはペアリングの手順が異なる場合があります。

NTT docomo

機種	サムスン GALAXY S4	サムスン GALAXY SIII	ソニー Xperia A/Z/AX/SX
ペアリング設定方法	アプリケーション画面 ↓ 設定 ↓ Bluetooth ↓ スキャン ↓ 「BL-22」と表示された番号を選択 ↓ 接続完了	アプリケーション画面 ↓ 設定 ↓ Bluetooth ↓ 検索 ↓ 「BL-22」と表示された番号を選択 ↓ 接続完了	アプリケーション画面 ↓ 設定 ↓ Bluetooth ↓ 機器の検索 ↓ 「BL-22」と表示された番号を選択 ↓ 接続完了

機種	ソニー SO-01D/Xperia(SO-03C)	LG L-01F/05E/04E	LG L-02D/01D
ペアリング設定方法	メニュー ↓ 設定 ↓ 無線とネットワーク ↓ Bluetooth設定 ↓ 端末のスキャン ↓ 「BL-22」と表示された番号を選択 ↓ 接続完了	アプリケーション画面 ↓ 設定 ↓ Bluetooth ↓ デバイスの検索 ↓ 「BL-22」と表示された番号を選択 ↓ 接続完了	メニュー ↓ 設定 本体設定 ↓ 無線とネットワーク ↓ Bluetooth設定 ↓ Bluetooth機器のスキャン ↓ 「BL-22」と表示された番号を選択 ↓ 接続完了

＊ペアリングする時は、本製品のランプを**赤・青交互の点滅**にした状態でおこなってください。
＊OSのバージョンによってはペアリングの手順が異なる場合があります。

au

機種	アップル iPhone6 Plus/6/6S/6S Plus/5c	シャープ SHL23/22/21	シャープ IS14SH/13SH
ペアリング設定方法	アプリケーション画面 ↓ 設定 ↓ Bluetooth ↓ オンにする ↓ 「BL-22」と表示された番号を選択 ↓ 接続完了	アプリケーション画面 ↓ 設定 ↓ Bluetooth ↓ デバイスの検索 ↓ 「BL-22」と表示された番号を選択 ↓ 接続完了	メニュー ↓ 端末設定 ↓ 無線とネットワーク ↓ Bluetooth設定 ↓ デバイスのスキャン ↓ 「BL-22」と表示された番号を選択 ↓ 接続完了

機種	ソニー SOL24/22/21	ソニー IS12S/11S	富士通 FJL22/21
ペアリング設定方法	アプリケーション画面 ↓ 設定 ↓ Bluetooth ↓ 機器の検索 ↓ 「BL-22」と表示された番号を選択 ↓ 接続完了	メニュー ↓ 設定 ↓ 無線とネットワーク ↓ Bluetooth設定 ↓ 端末のスキャン ↓ 「BL-22」と表示された番号を選択 ↓ 接続完了	アプリケーション画面 ↓ 設定 ↓ Bluetooth ↓ デバイスの検索 ↓ 「BL-22」と表示された番号を選択 ↓ 接続完了

＊ペアリングする時は、本製品のランプを**赤・青交互の点滅**にした状態でおこなってください。
＊OSのバージョンによってはペアリングの手順が異なる場合があります。

au

機種	サムスン GALAXY S II Progre	LG LGL22/21	カシオ CAL21
ペアリング設定方法	アプリケーション画面 ↓ 設定 ↓ Bluetooth ↓ スキャン ↓ 「BL-22」と表示された番号を選択 ↓ 接続完了	アプリケーション画面 ↓ 基本ツール ↓ 設定 ↓ Bluetooth ↓ デバイスの検索 ↓ 「BL-22」と表示された番号を選択 ↓ 接続完了	アプリケーション画面 ↓ 設定 ↓ Bluetooth ↓ デバイスの検索 ↓ 「BL-22」と表示された番号を選択 ↓ 接続完了

機種	HTC HTL22	HTC HTX21	東芝 IS12T
ペアリング設定方法	アプリケーション画面 ↓ 設定 ↓ Bluetooth ↓ デバイスの検索 ↓ 「BL-22」と表示された番号を選択 ↓ 接続完了	アプリケーション画面 ↓ 設定 ↓ Bluetooth ↓ メニュー ↓ デバイスの検索 ↓ 「BL-22」と表示された番号を選択 ↓ 接続完了	アプリケーション画面 ↓ 設定 ↓ Bluetooth ↓ オンにする ↓ 「BL-22」と表示された番号を選択 ↓ 接続完了

＊ペアリングする時は、本製品のランプを**赤・青交互の点滅**にした状態でおこなってください。
＊OSのバージョンによってはペアリングの手順が異なる場合があります。

SoftBank

機種	アップル iPhone6 Plus/6/6S/6S Plus/5c	シャープ 303/302/206SH	シャープ 103/101/009SH
ペアリング設定方法	アプリケーション画面 ↓ 設定 ↓ Bluetooth ↓ オンにする ↓ 「BL-22」と表示された番号を選択 ↓ 接続完了	アプリケーション画面 ↓ 設定 ↓ その他の設定 ↓ Bluetooth ↓ デバイスの検索 ↓ 「BL-22」と表示された番号を選択 ↓ 接続完了	メニュー ↓ 端末設定 ↓ 無線とネットワーク ↓ Bluetooth設定 ↓ デバイスのスキャン ↓ 「BL-22」と表示された番号を選択 ↓ 接続完了

機種	富士通 301/202/201F	パナソニック 101/003P	NEC 101N
ペアリング設定方法	アプリケーション画面 ↓ 設定 ↓ Bluetooth ↓ デバイスの検索 ↓ 「BL-22」と表示された番号を選択 ↓ 接続完了	メニュー ↓ 設定 ↓ 無線とネットワーク ↓ Bluetooth設定 ↓ デバイスのスキャン ↓ 「BL-22」と表示された番号を選択 ↓ 接続完了	メニュー ↓ 設定 ↓ 無線とネットワーク ↓ Bluetooth設定 ↓ デバイスのスキャン ↓ 「BL-22」と表示された番号を選択 ↓ 接続完了

使用方法　＊充電中は本製品を使用する事はできません。

【電源をONにする】
電源ボタンを**青色**ランプがつくまで約2～3秒押し続け、ランプがついたら離してください。（イヤホンからは電子音が鳴ります。）
ペアリングされた情報は各機器とも残りますので、本製品をONにすれば数秒後に携帯電話機が認識しそのまま使える状態になります。

＊携帯電話機が認識しない場合は携帯電話機で接続操作をしてください。
＊本製品と携帯電話機の接続状況については携帯電話機で確認してください。接続状況の確認方法については携帯電話機の取扱説明書を参照してください。

【電源をOFFにする】
電源ボタンを**赤色**ランプがつくまで約2～3秒押し続け、ランプがついたら離してください。（イヤホンからは電子音が鳴ります。）

＊電源がOFFの状態の時は電源ランプは消えたままです。

【電話をかける】
本製品からの発信はできませんので、携帯電話機から発信してください。
相手が電話に出たら電源ボタンを2回連続で押し本製品に通話切換えをしてください。

＊携帯電話機の機種により携帯電話機から発信後に自動でイヤホンに切替わる機種もあります。
＊電源ボタンを2回連続で押しても切替わらない機種の場合は携帯電話機で切替えてください。

【電話をうける】
イヤホンから着信音がしたら電源ボタンを1回押します。
（イヤホンからは電子音が鳴ります。）

【電話をきる】
電源ボタンを1回押すと通話が終了します。
（イヤホンからは電子音が鳴ります。）

【着信を拒否する】
イヤホンから着信音がしたら電源ボタンを電子音が鳴るまで長押ししてください。

【リダイヤルする】
リダイヤルする場合は音量大ボタンを電子音が鳴るまで長押ししてください。
＊2台の携帯電話機を使用している場合は、接続時に本製品を先に認識した携帯電話機1台のみの対応となります。
＊携帯電話機により連続してリダイヤルができない場合があります。リダイヤル機能が働かなくなった場合は時間をおいてから再度リダイヤルをしてください。

【音量を調節する】
音量を大きくする場合は音量大ボタンを、音量を小さくする場合は音量小ボタンをそれぞれ1回ずつ押して調整してください。
＊音量がそれぞれ最大・最小になった時にはイヤホンから電子音が鳴ります。

【ミュート機能】
通話中に音量大ボタンと音量小ボタンを同時に1回押すとミュート機能がONになり通話相手に自分の声が伝わらなくなります。
ミュート機能をOFFにする場合は、音量大ボタンと音量小ボタンを同時に1回押してください。
＊ミュート機能が動作中はイヤホンより電子音が5秒間隔で鳴ります。
＊携帯電話機の機種によりミュート機能が使えない場合があります。

【携帯電話の2台使用について】
通話中にもう1台の携帯電話機に電話がかかってきた場合にはイヤホンから電子音が鳴り電話がかかってきたことがわかります。
かかってきた電話に出る場合は電源ボタンを1回押し通話中の電話を切ってから再度電源ボタンを1回押してください。
＊携帯電話機の機種によりイヤホンから電子音が鳴らない場合があります。

故障かな？と思ったら

症　状	考えられる原因	処　置
電源がONにならない。	電源ONの動作をおこなってもLEDが点灯しない場合は、バッテリーの残量が不足している。	付属のDC充電器とUSBケーブルを使用し充電してください。
	青いLEDが点滅している。	青いLEDが点滅している状態は電源がONの状態です。
ペアリングができない。	ペアリングモードになっていない。	電源OFFの状態から電源ボタンを6～8秒間押してペアリングモードにしてください。
	長時間、赤と青のLEDが交互に点滅している。	正常にペアリングをおこなう状態になっていない可能性がありますので、一度設定を中止し電源をOFFにしてから改めてペアリングをしてください。
通話音量が小さい。	音量レベルが最小になっている。	ボリュームを上げてください。
通話ができない。	ペアリングが完了されていない。	ペアリングをしてください。
	携帯電話機の設定がイヤホン設定になっていない。	携帯電話機の設定を変更してください。
	着信時の操作が早い。	イヤホンから着信音がしてから電源ボタンを押してください。
	携帯電話機で発信してからイヤホンの切替えをしていない。	携帯電話機で発信後、イヤホンの切替えをしてください。
	携帯電話機から10m以上離れ、ペアリングが解除になっている。	携帯電話機から10m以内の範囲に入り携帯電話機で本製品との接続操作をしてください。
携帯電話機から着信音が鳴らない。	接続時に着信音が出ない設定になる携帯電話機があります。	携帯電話機の取扱説明書を参考に設定を変更してください。
途中で通話が切れる。	鉄筋の入った壁、電子レンジなどの電気製品、放送局や無線局などが近くにある。	場所を移動して使用してください。

以上の処置をしても具合が悪い場合は事故防止の為、使用を中止しお買い上げの販売店、または当社までご相談ください。